

東京薬科大学新聞 6月21日

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

号外

©1988

東京薬科大学新聞会

発行所
東京薬科大学新聞会
責任者 嶋村 信孝

六三年度予算委員会が、六月一日より開かれた。出席者は予算委員長を中心に、執行委員会より二名、新聞会より一名、体育部門三名、文化部門三名、学術部門二名である。

六月一日の予算委員会の場では予算の分配方法の説明を行った。また、薬祭の方の予算についての意見を聞くために、次回から薬祭の代表者の出席を承認した。さらに体育部門の要請で、監査委員も次回より出席することになった。それは前年度の会計の結果を提出してもらったためである。この第一回の予算会議で、予算委員長より明示されたのは、今年度の予算は全体で八九二万一五〇〇円で、緊急のために残す金が二〇万円であること。各委員会、部門へ分配する金額の増加は二〇万であること。自治委員会の予算三〇万は自治会規約によって決ま

っており増減できないのとことだった。

六月八日の第二回予算委員会では、自治委員会より自治会費を三五〇〇円から五〇〇〇円に上げるように学生大会に提案するのを承認してほしいと提案があった。また、体育部門より各委員会へ薬祭を含むに金の使い道を発表してほしいとの要求がなされた。さらに、各部門には各部が部費やユニフォーム代や楽器代、コンサートなどの会場代、研究器具代や薬品代として、個人がどのくらい負担しているのかを調べて発表してほしいという提案がなされた。

六月一五日の第三回予算委員会は、今までのメンバーに東薬祭運営委員会より一名、監査委員会より二名を加えて行われた。その席上、監査委員長が報告で昨年度の執行委員会に「コピーが八万円以上

もかかっており使い過ぎではないか、私用のコピーが噂になっているがどうか」という質問がなされた。これに関して、文化部門より同様のことを聞いたと報告があった。これに対して執行委員会は、数は少ないがやっとなとれる言葉を返した。また、監査委員長より「執行委員会の部屋には外線につながる電話がありそれはどうなっているのか、電話が私用で使われているのではないか」という質問があった。また、文化部門より「北海道に私用電話をかけた人がいる」ということを聞いた人が、本当ならどうでもない特権の濫用ではないか」という発言があった。それに対して執行委員会は私用の電話を使ったという事実が否定されたが調査するというような答えをした。また「駐車場の使用許可証についてもいろいろ苦

問題多し予算委員会 前執行委員会では私用コピーも



情があるようなので、割り当てを一覧を提出してほしい」という要求が執行委員会になされ、了承された。さらに「新歓祭が昨年度の残りがあつたのかかわらず、収入の所に書かれていないのはどうなっているのか。また、大金の領収書には明細書を添えて提出するように」という要求がなされた。東薬祭運営委員会には「決算の報告を学校側に提出してほしい」という要求がなされた。執行委員会から印刷室の管理をどうすればよいか話し合いたい、コンピュータ室を整理してもうすこし使えるようにしたい」という意見が出された。体育部門より「個人負担の表を提出し、他の部門にも提出するように」という要求がなされた。

第一回、第二回の委員会では会議の進め方を説明しただけで他に何もなかったが、第三回の会議ではかなり活発な意見が出された。そのうちでも昨年度の執行委員会に対する私用コピーには次回、六月二十二日予定の会議では前委員長を会議の席上に呼び、その場にて私用コピーについての処置が話し合われると思ふ。学生の皆さんは、いつも混んでいるコピー機に並んでとっているのに、本来公共の立場であらねばならない執行委員会が私用でコピーを使うことがあってはならないのでありこれ以降こういう事がないようにならんかの対策をとることが必要でないだろうか。

また、色々な所で問題とされているジャズ研の問題もこの予算委員会に提案されたがそれ以降は論議されたいない各部門からかなりの増額要求がなされている。それについても一番始めに決まるべき委員会の予算が決定しておらず、その後に部門の予算が決定するのはまだ先のことになりそうである。予算委員会はまだまだ問題が多いように思われる。

学生大会

7月6日（水）開催

みんな積極的に

参加しよう